

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 エレマテック株式会社(旧 高千穂電気株式会社)

コード番号 2715 URL <http://www.elematec.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 櫻井 恵

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員

(氏名) 磯上 篤生

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 03-3454-3526

平成21年12月2日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年3月期第2四半期 | 37,994 | △24.3 | 945 | △48.3 | 802 | △57.9 | 448 | △60.3 |
| 21年3月期第2四半期 | 50,211 | — | 1,828 | — | 1,908 | — | 1,131 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期第2四半期 | 24.62 | — |
| 21年3月期第2四半期 | 61.62 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|--------|---|--------|---|--------|---|----------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期第2四半期 | 43,888 | — | 24,064 | — | 54.3 | — | 1,307.51 | — |
| 21年3月期 | 38,592 | — | 23,705 | — | 60.9 | — | 1,288.22 | — |

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 23,843百万円 21年3月期 23,491百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期 | — | 20.00 | — | 10.00 | 30.00 |
| 22年3月期 | — | 10.00 | — | — | — |
| 22年3月期(予想) | — | — | — | 20.00 | 30.00 |

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 | |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|------------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | 円 銭 |
| 通期 | 91,000 | 5.3 | 3,100 | 35.2 | 3,100 | 19.0 | 1,900 | 14.0 | 89.82 | — |

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

1株当たり当期純利益は、平成21年10月1日に大西電気株式会社と合併し発行済株式数が増加したため、増加した株式数を考慮して算定しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は7ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第2四半期 | 18,835,800株 | 21年3月期 | 18,835,800株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第2四半期 | 600,045株 | 21年3月期 | 600,045株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第2四半期 | 18,235,755株 | 21年3月期第2四半期 | 18,357,950株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年5月8日に発表した通期の連結業績予想及び個別業績予想を修正しております。
1株当たり当期純利益は、平成21年10月1日に大西電気株式会社と合併し発行済株式数が増加したため、増加した株式数を考慮して算定しております。
上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、6ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考)

平成22年3月期の個別業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期 純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 78,000 | 5.9 | 2,000 | 53.5 | 2,200 | 51.7 | 1,300 | 52.4 | 61.46 |

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

1株当たり当期純利益は、平成21年10月1日に大西電気株式会社と合併し発行済株式数が増加したため、増加した株式数を考慮して算定しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、景気悪化に底打ち感が出始め、一部持ち直しの動きが出たものの、雇用情勢は厳しさを増し、最終需要は脆弱な状況が続きました。

エレクトロニクス業界におきましては、「エコポイント」制度により、省エネ家電としてのフラットテレビや冷蔵庫の販売は、堅調に推移いたしました。一方、電子部品等や半導体の生産、パソコンや携帯電話の販売及び重電や通信機器の需要は、低調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、需要が伸びた液晶テレビ等関連部材の販売活動に注力したものの、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比24.3%減の379億94百万円となりました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、売上高の減少に伴い売上総利益が減少したため、営業利益は、前年同期比48.3%減の9億45百万円となりました。

経常利益は、営業利益が減少したことに加え、為替差損を計上したことから、前年同期比57.9%減の8億2百万円となりました。

税金等調整前四半期純利益は、前年同期比59.8%減の7億8百万円に、四半期純利益は、前年同期比60.3%減の4億48百万円となりました。

セグメント別の概況

当社グループは事業の種類別セグメント情報は作成しておりませんが、当第2四半期連結累計期間の商品の区別の概況は以下のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、従来の商品区分を一部変更しており、前年同期比については、前年同期の売上高を変更後の商品区分にて再集計し、算定しております。

電気材料

携帯電話用のディスプレイ部品、材料の販売や、海外での絶縁材料の販売が減少した結果、売上高は前年同期比35.6%減の201億79百万円となりました。

電子部品

携帯電話及び家電用等の電気部品の販売が減少した結果、売上高は前年同期比13.8%減の90億95百万円となりました。

機構部品

液晶テレビ用の機構部品の販売が増加した結果、売上高は前年同期比7.7%増の68億56百万円となりました。

その他

医療機器用の関連部材等の販売が減少した結果、売上高は前年同期比4.3%減の18億63百万円となりました。

所在地別セグメントの概況

日本

売上高は、「電気材料」の販売が減少した結果、前年同期比21.4%減の337億75百万円となりました。営業利益は、前年同期比30.6%減の6億23百万円となりました。

中国

売上高は、「電気材料」の販売が減少した結果、前年同期比30.5%減の89億37百万円となりました。営業利益は、前年同期比79.3%減の1億13百万円となりました。

その他アジア

売上高は、「電気材料」の販売が減少した結果、前年同期比20.0%減の39億10百万円となりました。営業利益は、前年同期比61.2%減の80百万円となりました。

欧米

売上高は、「機構部品」の販売が増加した結果、前年同期比11.0%増の6億75百万円となりました。営業利益は、21百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比13.7%増の438億88百万円となりました。

流動資産は、「受取手形及び売掛金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比17.9%増の381億78百万円となりました。

固定資産は、「投資有価証券」が減少したこと等により、前連結会計年度末比8.0%減の57億10百万円となりました。

流動負債は、「支払手形及び買掛金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比34.5%増の195億96百万円となりました。

固定負債は、「その他」の「繰延税金負債（固定）」が減少したこと等により、前連結会計年度末比28.1%減の2億27百万円となりました。

純資産は、「利益剰余金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比1.5%増の240億64百万円となり、自己資本比率は、54.3%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末は、前連結会計年度末と比べ、現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）が13億70百万円増加し、99億33百万円となりました。

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、8億44百万円（前年同期比26億75百万円減少）となりました。主な内訳としては、税金等調整前四半期純利益が7億8百万円、売上債権の増加による資金流出が44億68百万円、仕入債務の増加による資金獲得が46億円、法人税等の支払による資金流出が2億6百万円であります。

投資活動によって得られたキャッシュ・フローは、6億18百万円（前年同期比1億29百万円増加）となりました。主な内訳としては、投資有価証券の売却及び償還による資金獲得が7億22百万円であります。

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、24百万円（前年同期比8億60百万円減少）となりました。主な内訳としては、短期借入金の増加による資金獲得が1億57百万円、配当金の支払による資金流出が1億82百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

国内の景気は、自律的な回復力に乏しく、この先も設備投資や個人消費の減少が続き、経済政策の効果も剥落して、低迷が長期化する懸念があります。

国内のエレクトロニクス業界は、「エコポイント」関連商品を除けば、景況感の低迷、特に雇用環境の先行き不安による個人消費の低迷から、数量及び価格面で厳しい状況が続くものと考えられます。

海外においては、政府による経済政策の影響で景気の悪化も底入れしつつあり、その中でも中国は内需主導の景気の回復が続いています。しかし、多くの国で日本同様、雇用環境は悪化し、この影響で個人消費が圧迫を受けていることから、エレクトロニクス製品の販売は、弱含みで推移することが考えられます。

このような状況の中、当社グループは、平成21年10月1日の大西電気株式会社との合併を通して、顧客基盤の拡充や営業拠点の統合による販売活動の効率化により、より一層の拡販に努める所存であります。

以上を踏まえ、平成22年3月期通期の連結業績予想に関しましては、売上高を910億円と予想しております。利益面につきましては、営業利益31億円、経常利益31億円、当期純利益19億円を見込んでおります。

なお、平成21年5月8日の決算短信で発表いたしました通期の連結業績予想との差異は以下のとおりであります。

平成22年3月期の連結業績予想（通期）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想（A） | 90,000 | 3,000 | 3,000 | 1,900 | 89 84 |
| 今回修正予想（B） | 91,000 | 3,100 | 3,100 | 1,900 | 89 82 |
| 増減額（B－A） | 1,000 | 100 | 100 | - | △0 02 |
| 増減率（％） | 1.1 | 3.3 | 3.3 | 0.0 | △0.0 |
| 前期実績 | 86,455 | 2,293 | 2,605 | 1,666 | 91 10 |

（参考）

平成22年3月期の個別業績予想（通期）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想（A） | 75,000 | 1,700 | 1,800 | 1,050 | 49 65 |
| 今回修正予想（B） | 78,000 | 2,000 | 2,200 | 1,300 | 61 46 |
| 増減額（B－A） | 3,000 | 300 | 400 | 250 | 11 81 |
| 増減率（％） | 4.0 | 17.6 | 22.2 | 23.8 | 23.8 |
| 前期実績 | 73,628 | 1,303 | 1,449 | 852 | 46 61 |

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

当第2四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 9,933 | 8,563 |
| 受取手形及び売掛金 | 24,498 | 20,197 |
| たな卸資産 | 3,061 | 2,675 |
| 未収消費税等 | 304 | 590 |
| その他 | 536 | 461 |
| 貸倒引当金 | △155 | △102 |
| 流動資産合計 | 38,178 | 32,385 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 2,234 | 2,213 |
| 減価償却累計額 | △1,425 | △1,391 |
| 建物及び構築物（純額） | 808 | 822 |
| 機械装置及び運搬具 | 706 | 657 |
| 減価償却累計額 | △264 | △222 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 442 | 435 |
| 土地 | 1,660 | 1,660 |
| その他 | 631 | 553 |
| 減価償却累計額 | △416 | △389 |
| その他（純額） | 215 | 163 |
| 有形固定資産合計 | 3,126 | 3,080 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 141 | 136 |
| その他 | 14 | 16 |
| 無形固定資産合計 | 156 | 152 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 753 | 1,346 |
| 保険積立金 | 351 | 310 |
| 投資不動産 | 436 | 441 |
| その他 | 960 | 902 |
| 貸倒引当金 | △75 | △27 |
| 投資その他の資産合計 | 2,427 | 2,972 |
| 固定資産合計 | 5,710 | 6,206 |
| 資産合計 | 43,888 | 38,592 |

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 18,072 | 13,507 |
| 短期借入金 | 281 | 124 |
| 未払法人税等 | 362 | 186 |
| 賞与引当金 | 283 | 198 |
| 役員賞与引当金 | 18 | — |
| その他 | 577 | 553 |
| 流動負債合計 | 19,596 | 14,570 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 28 | 29 |
| 役員退職慰労引当金 | — | 150 |
| 負ののれん | 40 | 48 |
| その他 | 158 | 87 |
| 固定負債合計 | 227 | 316 |
| 負債合計 | 19,824 | 14,886 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,142 | 2,142 |
| 資本剰余金 | 2,018 | 2,018 |
| 利益剰余金 | 21,393 | 21,125 |
| 自己株式 | △733 | △733 |
| 株主資本合計 | 24,820 | 24,552 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 40 | △100 |
| 為替換算調整勘定 | △1,017 | △959 |
| 評価・換算差額等合計 | △977 | △1,060 |
| 少数株主持分 | 221 | 214 |
| 純資産合計 | 24,064 | 23,705 |
| 負債純資産合計 | 43,888 | 38,592 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 50,211 | 37,994 |
| 売上原価 | 44,889 | 33,978 |
| 売上総利益 | 5,322 | 4,016 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料及び手当 | 978 | 913 |
| 役員報酬 | 102 | 97 |
| 運賃及び荷造費 | 404 | 339 |
| 法定福利費 | 146 | 129 |
| 旅費及び交通費 | 228 | 162 |
| 保険料 | 48 | — |
| 減価償却費 | 107 | 91 |
| 賞与引当金繰入額 | 397 | 261 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 49 | 18 |
| 退職給付費用 | 78 | 91 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 12 | — |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 103 |
| その他 | 940 | 861 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 3,494 | 3,071 |
| 営業利益 | 1,828 | 945 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 49 | 15 |
| 受取配当金 | 10 | 11 |
| 負ののれん償却額 | 8 | 8 |
| 持分法による投資利益 | 7 | — |
| 仕入割引 | 21 | — |
| 貸貸収入 | 66 | 63 |
| その他 | 24 | 25 |
| 営業外収益合計 | 187 | 125 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1 | 0 |
| 持分法による投資損失 | — | 9 |
| 貸貸費用 | 12 | 12 |
| 為替差損 | 82 | 201 |
| その他 | 11 | 43 |
| 営業外費用合計 | 108 | 267 |
| 経常利益 | 1,908 | 802 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券償還損 | 146 | 94 |
| 特別損失合計 | 146 | 94 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,761 | 708 |
| 法人税等 | 646 | 264 |
| 少数株主損失(△) | △16 | △4 |
| 四半期純利益 | 1,131 | 448 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,761 | 708 |
| 減価償却費 | 153 | 133 |
| 投資有価証券償還損益(△は益) | 146 | 94 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △7 | 9 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | — | 100 |
| 受取利息及び受取配当金 | △60 | △27 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 1,406 | △4,468 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △392 | △383 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 494 | 4,600 |
| 未収消費税等の増減額(△は増加) | 301 | 286 |
| その他 | 31 | △44 |
| 小計 | 3,835 | 1,008 |
| 利息及び配当金の受取額 | 63 | 42 |
| 利息の支払額 | △1 | △0 |
| 法人税等の支払額 | △377 | △206 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,519 | 844 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △358 | △90 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △48 | △27 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 891 | 722 |
| その他 | 5 | 13 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 489 | 618 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △106 | 157 |
| 自己株式の取得による支出 | △392 | — |
| 配当金の支払額 | △385 | △182 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △885 | △24 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △49 | △67 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 3,074 | 1,370 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,684 | 8,563 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 8,759 | 9,933 |

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間において、当社グループは電気材料、電子部品及び機構部品等の販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

| | 日本 (百万円) | 中国 (百万円) | その他 アジア (百万円) | 欧米 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-----------------------|-------------|-------------|---------------------|-------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 33,501 | 11,962 | 4,237 | 510 | 50,211 | — | 50,211 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 9,458 | 895 | 649 | 97 | 11,101 | (11,101) | — |
| 計 | 42,960 | 12,858 | 4,886 | 608 | 61,313 | (11,101) | 50,211 |
| 営業利益（又は営業損失） | 899 | 547 | 207 | (14) | 1,640 | 188 | 1,828 |

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- ① 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度による。
- ② 各区分に属する主な国又は地域……中国（香港を含む）、その他アジア：台湾、韓国、東南アジア
欧米：USA、チェコ、ポーランド

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

| | 日本 (百万円) | 中国 (百万円) | その他 アジア (百万円) | 欧米 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-----------------------|-------------|-------------|---------------------|-------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 26,550 | 7,808 | 3,043 | 591 | 37,994 | — | 37,994 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 7,224 | 1,129 | 866 | 83 | 9,304 | (9,304) | — |
| 計 | 33,775 | 8,937 | 3,910 | 675 | 47,298 | (9,304) | 37,994 |
| 営業利益 | 623 | 113 | 80 | 21 | 838 | 106 | 945 |

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- ① 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度による。
- ② 各区分に属する主な国又は地域……中国（香港を含む）、その他アジア：台湾、韓国、東南アジア
欧米：USA、チェコ、ポーランド

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

| | 中国 | その他アジア | その他 | 合計 |
|--------------------------|--------|--------|-----|--------|
| I 海外売上高（百万円） | 13,709 | 4,613 | 538 | 18,861 |
| II 連結売上高（百万円） | — | — | — | 50,211 |
| III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%） | 27.3 | 9.2 | 1.1 | 37.6 |

（注）国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- ① 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度による。
- ② 各区分に属する主な国又は地域……………中国（香港を含む）、その他アジア：台湾、韓国、東南アジア

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

| | 中国 | その他アジア | その他 | 合計 |
|--------------------------|-------|--------|-----|--------|
| I 海外売上高（百万円） | 9,200 | 3,162 | 611 | 12,974 |
| II 連結売上高（百万円） | — | — | — | 37,994 |
| III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%） | 24.2 | 8.3 | 1.6 | 34.1 |

（注）国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- ① 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度による。
- ② 各区分に属する主な国又は地域……………中国（香港を含む）、その他アジア：台湾、韓国、東南アジア

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。